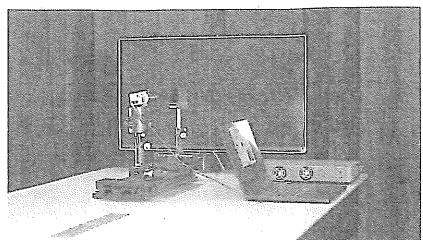


2022年(令和4年)5月19日(木曜日)



アフロディ

ディスプレーの光学測定機器事業やコンサルティング事業などを手がけるアフロディ(株)(東京都町田市原町田1-13-1、☎042-321-3160)は、ディスプレーの空間解像度を定量的に計測できる「MTF(Modulation Transfer Function)測定システム」(販売)を新たにラインアップに追加し、4月から販売を開始した。

空間解像度測定器を販売

2021年から放送業界などに向けて提案を進めている。アフロディは同製品の販売代理店として、パネルメーカー、ガラス、フィルムなどの部材・素材メーカーに向け、提案ならびに販売展開を促進していく。

MTF測定システムは、カメラ、ノートPC、発信機の3つの機器からなる。シンプルなシステム構成の

パネルの高解像度化に貢献

(input)とディスプレーパネル(出力)のずれの程度をカメラで撮影して計測するもので、安価なシステムかつ簡単な操作方法で、高い測定精度を実現している。今後、国際標準化規格に制定される予定だ。

「昨今はディスプレーの高解像度化が進み、8Kがスタンダードになる日も近い。この先、16K、32Kとする純DMS社製ディスプレー

同製品は画像・映像の鮮明度を定量的に測定するもので、これによりディスプレーパネルに搭載される部材や素材の組み合わせなどで生じる見え方のぼやけ具合を数値で捉えることが可能になる。映像発信技術に強みを持つアストロデザイン(株)が開発した。同社では「MTF測定システム DT-8031」として

e-Based法はNHK放送技術研究所が開発し、発信機とソフトウェアのアルゴリズムの開発をアストロデザインが手がけた。このLine-Based法は、映像の入力信号

といかを定量的に捉えられるようになると、真に高解像度なパネルの普及に貢献できると考えている」(アフロディ代表取締役CEOの嶋秀一氏)。

アフロディ(株)ソニー(株)で長年にわたりディスプレーパネル事業に携わってきた嶋秀一氏により、13年11月に設立された。ディスプレー表面のざらつきを測定する純DMS社製ディスプレー

たる、あらゆるディスプレーや素材・部材の空間解像度を定量的に評価する」という測定方法である「Line

たる、あらゆるディスプレーも当たり前となる日が来るだろう。しかし、人間の感性に訴えることができるような美しいディスプレーになっても、採用されることは最終的に高解像度の美しさが發揮できない」とある。これを、本来の空間解像度の基準値からどの程度のずれがあるか、な

どがある。「当社はディスプレー

や部材業界に強みを持つ。機器の販売やディスプレーに

関連するコンサルティング

業務のほか、測定サービス

も行っている。近年はデモ

機での計測ニーズも増えて

おり、測定技術の提供やア

フターフォローまで、ハ

ドウエアとテクノロジーの

ソリューション提供を図っ

ている。MTF測定システ

ムは当社の既存製品のマ

ケットと共にしており、パ

ネルメーカーや主要部材メ

カーカへの提案、コンサル

タントやアフターフォロ

ー専用システム「SMS

ー1000」の日本販売總代理店を務めており、車載ディスプレーやノートPC

などで採用が進んでいる。

また、同システムの測定方

法はJIS規格にも採択さ

れた。